

25 journal

society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com



多摩川に架かる登計橋周辺

奥多摩町氷川の多摩川に架かる登計橋周辺に7月上、中旬、多くのホタルが現れた。7月7日には100匹を超えるゲンジボタルが乱舞した。20日ぐらいまで見えた。



「来年も楽しみ」と石田さん

奥多摩町氷川でホタル乱舞 台風で全滅した「ほたるの里づくり」結実

奥多摩町氷川の多摩川に架かる登計橋周辺に7月上、中旬、多くのホタルが現れた。7月7日には100匹を超えるゲンジボタルが乱舞した。20日ぐらいまで見えた。

奥多摩に生まれ育った石田さんだが、周辺の多摩川でホタルを見たりはなかつた。ホタルがなぜ現れたのか。石田さんには心当たりがあった。

石田さんは20年ほど前から石田家が所有する梶木林道下のあし沢で「ほたるの里」づくりを進め、沢にホタルの幼虫と餌を放流してきた。だが、2007(平成19)年の台風9号で全て流されてしまう。

それでも2年後に、人と自然の共生をテーマに「フォレストパス

森の会議」を立ち上げ、会長となり、「ほたるの里」に一層の情熱を傾けてきた。2013(平成25)年にはホタルの繁殖を確認。活

動は順調に進んだが、2019年の台風19号の大雨で再び全滅した。石田さんが「ほたるの里」づくりに取り組

んでいた頃、登計原地区でもホタルの放流が行われていたという事実もある。

石田さんは7月初旬、父親の光正さんの49日と母親の恭子さんの1周年を迎えた。「両親も夢見たほたるの里だったので、蛍火に何か因縁を感じる。人と自然との共生をこれからも考え、進めていきたい」と話す。

ホタルの美しい光は、また来年までのお楽しみ。来年は西多摩きつてのスポットになっっているかも知れない。

米国、カナダで音楽ライブ3回

石川酒造(福生市熊川)の社長、石川彌八郎さんが6月15日〜30日まで米国とカナダを訪れ、現地に住む旧友や知人の音楽家とライブを3回開催。国際交流を深めた。

国際ロータリークラブ第2580地区ガバナリーとしてカナダ・カルガリーで開催されたロータリーインターナショナル国際大会への出席に合わせ、テネシー州ナッシュビル、ケンタッキー州レキシントンなどを訪ねた。

「来年も楽しみ」と石田さんになるカワニナ

から国際大会に出席していた120人を前に、ガバナリーナイトで演奏。ギタリスト・ボ

ーカリストで、旧友のケン吉岡さんに共演者を集めてもらい、思い出に残る夜を演出し

た。レキシントンでは、横田基地空軍バンド「パシフィックショーケース」のメンバーだったジャーマイナー・トルマーさんが所属し、アンドリュース

が因縁を感じる。人と自然との共生をこれからも考え、進めていきたい」と話す。

ホタルの美しい光は、また来年までのお楽しみ。来年は西多摩きつてのスポットになっっているかも知れない。

現地在住の旧友・知人と共演 石川彌八郎さん



「HOOCH (フーチ)」と共演する石川さん(中央)



「パシフィックショーケース」のメンバーだったジャーマイナー・トルマーさんが所属し、アンドリュース

が因縁を感じる。人と自然との共生をこれからも考え、進めていきたい」と話す。

ホタルの美しい光は、また来年までのお楽しみ。来年は西多摩きつてのスポットになっっているかも知れない。